

2009年JCFジュニア強化育成事業計画

1. 目 標

この計画は世界規模の大会でメダル獲得を継続的に目指すために、日本におけるジュニア競技者を計画的かつ有機的に強化・育成を図ることにより、わが国の自転車競技の発展・振興に寄与することを目標とする。特に本年度においては2010年ユース・オリンピックの出場権の獲得を目標とする。

- (1) 世界レベルを目標とした選手ならびに指導者における意識の高揚とその定着を図る。
- (2) 選手と所属指導者に対して各種トレーニング方法の実践と関連知識の研修を行う。
- (3) 日本代表選手には積極的に海外へ派遣し、遠征を通して経験を深め、研修をする。

2. 基本方針

- (1) 選抜された優秀選手を指導していく中で、選手・所属指導者との連携・連絡を密にする。また、ジュニア担当スタッフは海外遠征事業等において選手の活躍と日本国内への情報提供等の還元に努める。
- (2) 選手の更なる競技力向上を期するため、競争原理（選手入れ替え）の導入を行う。
- (3) 海外派遣については選手の実力を十分に精査し、派遣する大会・人数を決定する。

3. 施 策

- (1) 強化指定選手発掘事業
- (2) 国内合宿選手強化事業
- (3) ロード競技者海外派遣事業
- (4) トラック競技者海外派遣事業
- (5) その他の事業

4. 当初指定選手数

※男女ともにトラック・ロード兼任も認める。

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 男子トラック短距離 | 10名程度 |
| (2) 男子トラック中距離・ロード | 15名程度 |
| (3) 女子トラック短距離 | 若干名 |
| (4) 女子トラック中距離・ロード | 若干名 |

JCFジュニア・ナショナル選手（強化指定）手続きについて

(財) 日本自転車競技連盟

(強化指定の意義)

1. 強化指定選手は、将来、日本を代表してオリンピックや世界選手権においてメダル獲得を目標とした資質を持つ選手をJCFが指名し、指定選手として強化・育成する。そして、日本代表として参加する選手団のことをナショナルチームという。
2. ジュニア・ナショナルチームの目標は出場大会においてメダルの獲得である。

(選手指名)

3. 選手はJCFより指名される。選考基準はJCFが指定する大会等でのレース展開、走力・戦術や成績、関係所属団体の推薦等を考慮し、JCFジュニア強化育成部会にて原案を作成し、JCF強化委員会・同本部会にて承認を受け発表される。

(指定期間)

4. 指定期間は発表後から当年ジュニア世界選手権大会終了時までとする。
※2009年は当該年3月に開催される全国高等学校選抜自転車競技大会を原則、第1次選考とし順次、強化事業（合宿・大会派遣）等で精選される

(その他)

5. 指定選手にはナショナルジャージの貸与他、強化事業に招聘され、トレーニング・研修の機会が与えられる。
6. 指定候補選手は別紙、受諾書を熟読して期日までに提出する。本連盟では受諾書を受け取り確認後、指定選手として認める。

2009ナショナルジュニア選考過程

